

私たちが日常生活を営む都市や地域社会。そこでは、誰もが安全、安心、快適に生活できる、美しい空間の創出が望まれています。

本講座では、そのために必要とされる社会資本（インフラストラクチャー）の整備理念について解説します。

第1回 8月8日（月）

「世界の橋・秋田の橋」

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻
教授 川上 洵

第2回 8月22日（月）

「いろいろな土と地盤のはなし
—身近な土から月面の土まで—」

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻
准教授 荻野 俊寛

第3回 8月29日（月）

「ヨーロッパと比較した日本の景観まちづくり」

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻
准教授 日野 智

第4回 9月5日（月）

「世界の交通事情 日本との比較」

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻
准教授 浜岡 秀勝

第5回 9月12日（月）

「木橋の話」

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻
准教授 後藤 文彦

第6回 9月26日（月）

「建設材料は地産地消の先駆け」

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻
准教授 徳重 英信

お申込み・お問い合わせは

秋田大学 

地域創生課 ☎:018-889-2270 ☎:018-889-3162
✉:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

地域環境とインフラの旅



藤倉水源ダム（秋田市）

リスボンのケーブルカー（ポルトガル）

田子内橋（東成瀬村）

時間：18：30～20：00

会場：カレッジプラザ

（秋田市中通2丁目1-51）

対象：どなたでも

定員：30名

※定員に達し次第
締め切りといたします。

受講料：3,000円

※受講料は初回受付にて
お支払いください。

平成23年度秋田大学公開講座

地域環境とインフラの旅

〔講座日程〕 ※8月15日(月)、9月19日(月)はお休みとなります。御注意ください。

	期 日	時 間	講 義 題／講 師	講 義 概 要
第1回	8月8日(月)	18:30~20:10 (18:30~18:40 開講式)	世界の橋・秋田の橋 秋田大学大学院工学資源学研究所 土木環境工学専攻 教授 川上 洵	土木工学に係わるインフラストラクチャーは様々ありますが、中でも橋梁は代表的な構造物です。写真を通して、様々な橋について御紹介します。
第2回	8月22日(月)	18:30~20:00	いろいろな土と地盤のはなし —身近な土から月面の土まで— 秋田大学大学院工学資源学研究所 土木環境工学専攻 准教授 荻野 俊寛	身近にある粘土や砂から月面土まで、さまざまな土の性質を解説します。土から構成される地盤についての災害や、その対策について学びましょう。
第3回	8月29日(月)	18:30~20:00	ヨーロッパと比較した 日本の景観まちづくり 秋田大学大学院工学資源学研究所 土木環境工学専攻 准教授 日野 智	日本における景観まちづくりやそれを支援する制度について御紹介します。併せて、景観に関する取り組みの先進地域であるヨーロッパの事例を見ていきましょう。
第4回	9月5日(月)	18:30~20:00	世界の交通事情 日本との比較 秋田大学大学院工学資源学研究所 土木環境工学専攻 准教授 浜岡 秀勝	世界における特徴的な交通システムについて、私たちになじみ深い日本の交通状況と比較しながら解説していきます。
第5回	9月12日(月)	18:30~20:00	木橋の話 秋田大学大学院工学資源学研究所 土木環境工学専攻 准教授 後藤 文彦	橋は、原始時代の丸太橋に始まり、縄文時代の桁橋を経て、アーチ橋やトレスル橋と発展していきましたが、やがて鋼橋・コンクリート橋にとってかわられることになりました。近代木橋の現状について御紹介します。
第6回	9月26日(月)	18:30~20:10 (20:00~20:10 閉講式)	建設材料は 地産地消の先駆け 秋田大学大学院工学資源学研究所 土木環境工学専攻 准教授 徳重 英信	世界中で多く使われているコンクリート、木材や石材などの建設材料について、「環境」と「地産地消」の切り口から解説します。建設材料の“これまで”と“いま”、そして“これから”について考えてみましょう。

〔会場案内図〕



※お車でお越しの方は、明徳館ビル内立体駐車場をご利用ください。公開講座開催時は無料で利用することができます。ただし、高さ1.5メートルを超える車は利用できませんので御了承ください。その場合は、恐れ入りますが周辺有料駐車場をご利用くださるようお願いいたします。